

# 津久戸

平成30年11月30日  
新宿区立津久戸小学校

12月号

## 「豊かな成長を願う」

副校長 内藤 徳子

落ち葉が木枯らしに舞う季節を迎え、今学期もまとめの月となりました。

先日の音楽会には、たくさんの保護者の方や、地域の方々においでいただき、ありがとうございます。子どもたちの一生懸命な合唱や合奏は、私たち観客を魅了しました。私も、素敵に響き合うハーモニーの中に身を置き、とても幸せな時間を過ごしました。それぞれの学年の練習の過程を見てきたので、当日の歌声や演奏には感慨も一入でした。練習の過程で、できなかった旋律ができるようになったり、自分の声が周りの友達の声と響き合っていることを感じられたりするたびに、子どもたちはどんどん上達し、その表現が豊かになっていきました。この大きな行事を通して、子どもたちは実にたくさんのことを学び、とても豊かな成長を遂げたことと思います。まさに、芸術の秋にどっぷり浸かった時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。ご家庭の様々なご協力に改めて感謝いたします。

さて、芸術の秋にふさわしい子どもたちの活動の一つをご紹介します。

本校には、ワンコインクラブ（花き業界で働く有志の方が毎月500円ずつ持ち寄り、その持ち寄りで小学校に花を届けている団体）の活動により、毎月教室に飾るお花が届けられています。また、年に1回、全児童を対象に「飾り方教室」という生け花を体験する機会を作っていただいています。11月末に行われた「飾り方教室」では、子どもたちは、兄弟学年でグループを作って講堂に集まり、生け花を体験しました。茎の切り方、オアシスへのさし方などを教えていただき、思い思いに生け花を楽しみました。出来上がった作品は実に個性豊かで、どれもとても素敵でした。お花を手に首をかしげながら鉢を使う子どもたちの顔は、とても豊かな表情でした。

私たち大人は、常に子どもたちの豊かな成長を願います。そのために欠かせないのが、多くの体験であると感じます。様々な体験を通して子どもたちはたくさんのことを考え、感じて、心も体も成長していくのではないのでしょうか。その体験をぜひご家庭でも話題にし、親子で共有し、共感していただけるように豊かなものになるとと思います。

## 保健室から

保健室には4月から11月までで、のべ1300人ほどの子どもが来室しています。けがをした子、ふらっと保健室に寄ってお話をする子、いやなことがあったときに落ち着きに来る子など、様々な理由で来室します。保健室では、心身共にほっとした気持ちで教室に戻ることができるように子どもたちと関わっています。子どもたちと関わる時間を大切にし、「心身の健康を自分で守る力」を高めていきたいと思います。

寒い冬が近付いてきました。かぜ・インフルエンザや感染症が流行する時期です。新宿区内ではすでに、学級閉鎖の対応をとっている学校もあります。

12月13日（木）の児童集会では、保健委員会がインフルエンザについて、オリジナルで考えた劇とクイズを発表します。学校全体でかぜ・インフルエンザ予防に努めていきたいと思います。基本的な予防法は手洗い・うがいと規則正しい生活です。帰宅後、食事の前、トイレの後などは十分に手を洗うことをご家庭でも一緒に取り組んでみてください。



## 主事室から見た子どもたち



正門から聞こえてくる元気な子ども達の声で、1日が始まります。津久戸小の子ども達は、顔を見て、頭を下げて挨拶してくれます。これは、なかなかできることではないと思います。挨拶は、相手に伝わって初めて挨拶したことになります。それができる子どもたち……。時には、「いつも、お掃除ありがとうございます。」とお礼を言ってくれたり「頑張ってください。」と励ましてくれたりと、優しい気持ちと他人を思いやる気持ちを言葉にし、相手に伝えることができる津久戸小の子ども達は、とても素晴らしいです。

先日の勤労感謝集会でも、そのことを伝えていただきたくさんのメッセージをもらい嬉しかったです。これからも、子ども達、先生方、学校に関わる皆様心地よい環境にするため、日々頑張っています。

## 【学年の窓から・・・4年生】

2年連続で同じクラスの担任をしていると子ども達の成長を感じる事が多くあります。逆上がりができるようになったり、漢字が苦手だった子がいつの間にか得意になっていたり、下学年の児童に優しく声をかけてあげている姿を見かけたり、文字がとても上手になっていたり…。何となく過ぎていく毎日ですが、子ども達は毎日自分の課題に向けて目標をもち、努力をしながら生活していることに気付かされます。

先月は音楽会の練習を通して、学年として心を一つに取り組みようという姿がみられました。子どもたちの「音楽会を成功させたい」という強い意志を感じました。行事を通して心の成長ぶりもみることができました。

来年4月には津久戸小学校の高学年として胸を張ってスタートが切れるように、4年生として残りの日々を大切に更なる成長を目指してほしいと思います。

4年生になって上の学年の仲間入りをし、早くも8か月が経ちました。子どもたちはきょうだい学年の3年生にどうやったら一緒に掃除をしてくれるかな、きょうだいあそびでは、どんなことをしたら喜んでくれるかなと考えることが増えました。また、先日の全校読み聞かせ集会でも随分早くから本を用意して、1年生向けに読み聞かせの練習をしていました。今まで自分がいかに楽しめるかという考えが多かった子どもたちが、他者のためにと行動したり話し合いを設けたりする姿に高学年に向けての意欲を感じています。

2学期に入ってから、総合的な学習の時間を通して共生について考え、自分たちの行動や言動を見つめ直す時間を作ってきました。さまざまな経験を通して、温かい思いやりの気持ちや自分たちも助け合って生活していることに気付いています。感謝の気持ちを忘れずに、これからも思いやりのあるクラスを作っていってほしいです。